

教科「地歴公民」

科目「日本史探究」

(3年次文型、
芸術フードコースの選択科目)

単位数	2単位
担当者	庄司 優子
教科書	改訂版 詳説日本史B(山川出版社)
副教材等	最新日本史図表(第一学習社) 新編 史料日本史(とうほう) 必携日本史用語集(実教出版)

【1】科目の目標

日本の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けてテーマごとに考察できる。日本の歴史や伝統と文化の特色についての認識を深めて、歴史的視点から様々な社会事象を思考することができる。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：政治・経済・文化など、分野ごとの日本史の展開を考察する。
- 2学期：自らテーマを設定し、そのテーマに沿って歴史事象を探究する。
- 3学期：テーマ研究の成果を発表し論議することで、探究内容を深める。

【3】学習形態

教室で授業を行う。一斉、グループ、ペア、個人など、様々な学習形態で学ぶ。

【4】学習上の留意点

高校の日本史学習で重要なことは、何が起こったかという歴史事象の内容理解でとどまらずに、なぜそのような事象が起こったのか、どんな根拠からその事象が証明できるのかという、歴史的思考力・判断力を養うことが重要である。この科目では、テーマ設定をスタートに、資史料の収集・読解、研究成果のまとめ、発表までを段階的に行い、歴史的思考力・表現力を養う。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 関心・意欲・態度：テーマごとの歴史の推移・展開についての関心を強め、現代とのつながりも意識しながら歴史事象の意味を主体的に考察しようとしたか。
- 2 思考・判断・表現：歴史の推移を因果関係に基づいて追究し、根拠を示して歴史の展開を説明できたか。
- 3 資料活用 of 技能：各種資史料を収集し、読み解き、活用して歴史事象を分析・説明できたか。
- 4 知識・理解：テーマごとの歴史の推移・展開を、歴史的背景や因果関係と関連付けて理解できたか。

② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、学習活動シート（ふり返りを含む）、演習課題への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・課題学習やレポート作成を通して、歴史的な思考力、内容の理解、資史料の読解力等を評価する。
- ・レポート作成では、自ら積極的に資史料を集め歴史事象や歴史の推移について根拠を示して筋道立てて表現できたかを評価する。また思考を深める中で現代の課題とつながる点を追究できたかを評価する。

【6】その他

なし